



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 PHCホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6523 URL <https://www.phchd.com/jp/ir>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 出口 恭子
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 上席部長 (氏名) 木村 正志 TEL 03-5408-7280
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	90,672	8.1	10,413	171.0	8,133	—	6,293	—	6,338	—	10,119	—
2026年3月期第1四半期	83,856	△1.6	3,843	89.6	△1,990	—	△2,474	—	△2,341	—	△1,330	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	50.06	49.84
2026年3月期第1四半期	△18.55	△18.55

(参考) 持分法による投資損益 2027年3月期第1四半期 △28百万円 2026年3月期第1四半期 △8百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	543,077	168,468	169,314	31.2
2026年3月期	542,510	160,880	161,668	29.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	359,700	△1.3	27,000	19.0	22,000	244.3	15,400	—	15,400	121.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	127,320,915株	2026年3月期	126,724,020株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	212,023株	2026年3月期	211,966株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	126,619,910株	2026年3月期1Q	126,254,536株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) キャッシュ・フローに関する説明	7
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	15
(売上収益)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下、「当期」）より一部の事業について名称変更及び再編を実施しております。「糖尿病マネジメント」におけるBGM事業を「糖尿病マネジメント事業」に、「ヘルスケアソリューション」におけるLSIM事業を「臨床検査事業」に、それぞれ名称変更いたしました。また、「診断・ライフサイエンス」のバイオメディカ事業と診断薬事業を統合、「ライフサイエンス事業」とし、従来、「その他」に含まれていたインドネシアにおけるB to B事業を「診断・ライフサイエンス」に移管、「ライフサイエンス事業」に含めることといたしました。以下は変更後の区分で記載いたします。また、前年同期のセグメント情報についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

当期における当社グループの売上収益は90,672百万円（前年同期比8.1%増）となりました。糖尿病マネジメントは先進国における市場縮小や低価格チャネルへの移行が続く中でも、販売が好調に推移したことや為替の好影響等により増収となりました。ヘルスケアソリューションはヘルスケアITソリューション事業が減収となりましたが、臨床検査事業の一般検査の増加、成長施策として取り組んでいる遺伝子分野の検査売上の増加に加え、CRO事業の受注増加等により増収となりました。診断・ライフサイエンスは病理事業の堅調な消耗品販売や価格改定効果、ライフサイエンス事業のアジアでの堅調な販売、為替の好影響により増収となりました。

営業利益は10,413百万円（前年同期比171.0%増）となりました。糖尿病マネジメントは好調な販売に加えて、コスト削減効果、持続血糖測定（CGM）事業の譲渡に伴う収益改善、為替の好影響等により大幅な増益となりました。ヘルスケアソリューションは、臨床検査事業やCRO事業の増収、コスト削減効果等により増益となりました。診断・ライフサイエンスは価格改定効果や販管費削減、米国関税還付影響等により増益となりました。

調整後EBITDAは17,253百万円（前年同期比58.1%増）となりました。主な当該調整項目としては、一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期137百万円加算、前年同期368百万円加算）、一時的なM&A関連収益・費用（当期61百万円加算、前年同期36百万円加算）の計上がありました。

税引前四半期利益は8,133百万円（前年同期は1,990百万円の損失）となりました。これは主に、営業利益の増加に加え為替差損の減少によるものです。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、6,338百万円（前年同期は2,341百万円の損失）となりました。

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	83,856	90,672	8.1%
営業利益	3,843	10,413	171.0%
EBITDA	10,506	17,075	62.5%
調整後EBITDA	10,911	17,253	58.1%
税引前四半期利益（△は損失）	△1,990	8,133	—
四半期利益（△は損失）	△2,474	6,293	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益（△は損失）	△2,341	6,338	—
米ドル平均レート（円）	144.46 円	159.40 円	14.94 円
ユーロ平均レート（円）	163.86 円	185.28 円	21.42 円

（注）EBITDA、調整後EBITDAは国際会計基準（IFRS）に基づく開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業利益	3,843	10,413	171.0%
+ 減価償却費	6,661	6,691	0.5%
+ 減損損失（有価証券等を除く）	1	△28	—
EBITDA	10,506	17,075	62.5%
（調整額）			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	36	61	69.4%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	368	137	△62.8%
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	△20	—
+ 一時的なその他の収益・費用	—	—	—
調整後EBITDA	10,911	17,253	58.1%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

セグメント別の状況
糖尿病マネジメント

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	23,137	27,814	20.2%
営業利益	3,953	9,180	132.2%
EBITDA	5,043	10,295	104.1%
調整後EBITDA	5,160	10,353	100.6%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業利益	3,953	9,180	132.2%
＋ 減価償却費	1,090	1,144	5.0%
＋ 減損損失（有価証券等を除く）	－	△28	－
EBITDA	5,043	10,295	104.1%
（調整額）			
＋ 一時的なM&A関連収益・費用	－	61	－
＋ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	116	△2	－
＋ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	－	－	－
＋ 一時的なその他の収益・費用	－	－	－
調整後EBITDA	5,160	10,353	100.6%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

<売上収益の状況>

当期の糖尿病マネジメントの売上収益は、27,814百万円（前年同期比20.2%増）となりました。先進国において市場縮小や低価格チャネルへの移行が続いている中でも、米国での販売数量の増加や、ドイツ、イタリア、ギリシャを中心とした欧州における販売好調により増収となりました。新興国についても、中東地域が回復傾向にあることに加え、アルジェリアにおける現地化施策の進展等により増収、また、為替の好影響もあり、CGM事業の譲渡に伴う減収影響を大きく上回り、前年同期比大幅な増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の糖尿病マネジメントの営業利益は、9,180百万円（前年同期比132.2%増）となりました。先進国における好調な販売に加え、新興国市場の増収も寄与しました。また、為替の好影響やこれまでの構造改革によるコスト削減効果、CGM事業の譲渡に伴う収益改善等により、大幅な増益となりました。

調整後EBITDAは10,353百万円（前年同期比100.6%増）となりました。主な当該調整項目は、CGM事業の譲渡関連費用として一時的なM&A関連収益・費用（当期61百万円加算）の計上がありました。

ヘルスケアソリューション

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	30,474	30,976	1.6%
営業利益	860	1,097	27.6%
EBITDA	3,492	3,578	2.5%
調整後EBITDA	3,529	3,696	4.7%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業利益	860	1,097	27.6%
＋ 減価償却費	2,632	2,481	△5.7%
＋ 減損損失（有価証券等を除く）	－	－	－
EBITDA	3,492	3,578	2.5%
（調整額）			
＋ 一時的なM&A関連収益・費用	36	－	－
＋ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	－	117	－
＋ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	－	－	－
＋ 一時的なその他の収益・費用	－	－	－
調整後EBITDA	3,529	3,696	4.7%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

<売上収益の状況>

当期のヘルスケアソリューションの売上収益は、30,976百万円（前年同期比1.6%増）となりました。内訳として、臨床検査事業が17,250百万円（前年同期比2.4%増）、ヘルスケアITソリューション事業が11,559百万円（前年同期比5.0%減）、CRO事業が2,166百万円（前年同期比47.4%増）となりました。

臨床検査事業は、一般検査の増加に加え、成長施策である遺伝子分野の検査売上の増加、販売価格適正化の進捗により増収となりました。

ヘルスケアITソリューション事業は、電子処方箋管理ソフトウェアの需要増による増収影響はあったものの、前年同期は電子カルテ・レセプトの買替需要が旺盛だった反動により減収となりました。

CRO事業は、治験、非臨床の両事業で昨年度受注が増加したことに加え、非臨床事業において大型安全性試験の完成があったこと等により、増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期のヘルスケアソリューションの営業利益は、1,097百万円（前年同期比27.6%増）となりました。ヘルスケアITソリューション事業の減収影響はありましたが、臨床検査事業及びCRO事業の増収影響、販売価格適正化、コスト削減等による収益性改善効果により、増益となりました。

調整後EBITDAは、3,696百万円（前年同期比4.7%増）となりました。主な当該調整項目として、一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期117百万円加算）の計上がありました。

診断・ライフサイエンス

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	30,177	31,797	5.4%
営業利益	871	1,813	108.2%
EBITDA	3,659	4,688	28.1%
調整後EBITDA	3,660	4,691	28.2%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業利益	871	1,813	108.2%
＋ 減価償却費	2,786	2,875	3.2%
＋ 減損損失（有価証券等を除く）	1	－	－
EBITDA	3,659	4,688	28.1%
（調整額）			
＋ 一時的なM&A関連収益・費用	－	－	－
＋ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	0	23	－
＋ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	－	△20	－
＋ 一時的なその他の収益・費用	－	－	－
調整後EBITDA	3,660	4,691	28.2%

(注) 1. 従来、「その他」に含まれていたインドネシアにおけるB to B事業を「診断・ライフサイエンス」に移管し、「ライフサイエンス事業」として区分しました。なお、前年同期のセグメント情報についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

2. EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

<売上収益の状況>

当期の診断・ライフサイエンスの売上収益は、31,797百万円（前年同期比5.4%増）となりました。内訳として、病理事業が14,286百万円（前年同期比5.1%増）、ライフサイエンス事業が17,511百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

病理事業は、消耗品が堅調に推移したほか、価格改定効果、為替の好影響もあり、増収となりました。一方で、機器需要の減少がみられたことや、前年同期においてデジタルパソロジーの大型案件があった反動もあり機器販売は減少致しました。

ライフサイエンス事業についても、為替の好影響を受けたほか、研究・医療支援機器分野において、アジアや日本での販売が堅調に推移し、増収となりました。米州は製薬向け大型案件の遅延が発生するも、小規模案件の受注増及び為替の好影響により増収となりました。一方、欧州地域では、イギリスにおいてアカデミアの会計年度末需要の獲得や為替の好影響があったものの、フランス、ドイツ等で需要が低迷し、減収となりました。IVD分野は、米州での販売の減収があったものの、欧州・アジアでの販売好調により、微増となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の診断・ライフサイエンスの営業利益は、1,813百万円（前年同期比108.2%増）となりました。価格改定効果や販管費削減効果に加えて、米国関税還付影響や為替の好影響もあり、増益となりました。

調整後EBITDAは、4,691百万円（前年同期比28.2%増）となりました。主な当該調整項目には、一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期23百万円加算、前年同期0百万円加算）、一時的な契約解除等に係る収益・費用（当期20百万円減算）の計上がありました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて567百万円増加し、543,077百万円となりました。この主な要因は、為替の影響を受けたことによりのれんが1,849百万円増加したこと、過去の買収により発生した無形資産の償却が進んだこと等により無形資産が1,901百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べて7,020百万円減少し、374,609百万円となりました。この主な要因は、返済が進んだこと等により借入金が5,294百万円減少したこと、営業債務及びその他の債務が4,902百万円減少したこと、未払法人所得税等が1,170百万円増加したことによるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末と比べて7,587百万円増加し、168,468百万円となりました。この主な要因は、在外営業活動体の換算差額等によりその他の資本の構成要素が2,921百万円増加したこと、主に四半期利益を6,338百万円、支払配当を△2,656百万円計上した結果、利益剰余金が4,600百万円増加したことによるものであります。また、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の29.8%から1.4ポイント増加して31.2%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,462百万円増加し、41,282百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動からの現金純額は14,331百万円であり、前年同期から8,948百万円の収入の増加となりました。当該増加の要因は、主として税引前四半期利益が増加したことに加えて、法人所得税の支払額が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された現金純額は3,313百万円であり、主として有形固定資産及び無形資産の取得による支出2,727百万円から構成されております。前年同期から1,248百万円の支出の増加となりましたが、当該増加の主な要因は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出が486百万円増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用された現金純額は10,018百万円であり、主として長期借入金の返済による支出5,958百万円及び親会社の所有者への配当金の支払額2,490百万円から構成されております。前年同期と比較して支出は528百万円減少しました。

(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年5月13日公表の予想数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	39,820	41,282
営業債権	70,283	66,236
棚卸資産	53,095	55,139
その他の金融資産	4,925	4,805
その他の流動資産	8,055	7,761
流動資産合計	176,180	175,225
非流動資産		
有形固定資産	49,242	48,596
のれん	221,524	223,374
無形資産	74,371	72,470
持分法で会計処理されている投資	730	651
その他の金融資産	10,988	10,881
繰延税金資産	6,482	7,067
その他の非流動資産	2,990	4,812
非流動資産合計	366,330	367,852
資産合計	542,510	543,077

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	72,379	67,529
借入金	78,254	78,289
未払法人所得税等	2,588	3,759
引当金	8,234	8,463
その他の金融負債	5,709	5,802
その他の流動負債	22,467	23,623
流動負債合計	189,634	187,467
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	537	485
借入金	156,303	150,974
退職給付に係る負債	5,962	5,038
引当金	4,955	6,590
その他の金融負債	11,278	11,170
繰延税金負債	11,472	11,782
その他の非流動負債	1,487	1,101
非流動負債合計	191,995	187,141
負債合計	381,630	374,609
資本		
資本金	48,785	49,114
資本剰余金	42,636	42,430
利益剰余金	△3,846	754
自己株式	△568	△568
その他の資本の構成要素	74,662	77,583
親会社の所有者に帰属する持分合計	161,668	169,314
非支配持分	△788	△846
資本合計	160,880	168,468
負債及び資本合計	542,510	543,077

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	83,856	90,672
売上原価	45,063	46,873
売上総利益	38,792	43,799
販売費及び一般管理費	34,962	34,020
その他の収益	276	813
その他の費用	254	150
持分法による投資損益(△は損失)	△8	△28
営業利益	3,843	10,413
金融収益	45	122
金融費用	5,879	2,402
税引前四半期利益(△は損失)	△1,990	8,133
法人所得税費用	483	1,839
四半期利益(△は損失)	△2,474	6,293
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	△2,341	6,338
非支配持分	△133	△44
1株当たり四半期利益(△は損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△18.55	50.06
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△18.55	49.84

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益 (△は損失)	△2,474	6,293
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	188	917
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	△1,942	△389
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△80	—
在外営業活動体の換算差額	3,082	3,348
持分法によるその他の包括利益	△102	△50
税引後その他の包括利益	1,144	3,825
四半期包括利益	△1,330	10,119
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,193	10,177
非支配持分	△136	△57
四半期包括利益	△1,330	10,119

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2025年4月1日時点の残高	48,623	42,039	2,991	△568	—	△233	△17
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	△2,341	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	188	△1,942	△80
四半期包括利益合計	—	—	△2,341	—	188	△1,942	△80
新株の発行	158	174	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△2,650	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	△39	37	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△229	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	188	—	△188	—	—
その他の増減	—	—	2	—	—	—	—
所有者との取引額合計	158	△93	△2,422	—	△188	—	—
2025年6月30日時点の残高	48,781	41,946	△1,773	△568	—	△2,175	△98

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2025年4月1日時点の残高	48,447	357	48,553	141,639	△468	141,171
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△2,341	△133	△2,474
その他の包括利益	3,085	△102	1,148	1,148	△3	1,144
四半期包括利益合計	3,085	△102	1,148	△1,193	△136	△1,330
新株の発行	—	—	—	332	—	332
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	△2,650	—	△2,650
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	—	—	△2	—	△2
株式報酬取引	—	—	—	△229	—	△229
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△188	—	—	—
その他の増減	—	—	—	2	—	2
所有者との取引額合計	—	—	△188	△2,546	—	△2,546
2025年6月30日時点の残高	51,533	254	49,514	137,900	△604	137,295

当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日至2026年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2026年4月1日時点の残高	48,785	42,636	△3,846	△568	—	△701	—
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	6,338	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	917	△389	—
四半期包括利益合計	—	—	6,338	—	917	△389	—
新株の発行	329	274	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△2,656	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	△17	1	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△461	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	917	—	△917	—	—
その他の増減	—	—	0	—	—	—	—
所有者との取引額合計	329	△205	△1,737	△0	△917	—	—
2026年6月30日時点の残高	49,114	42,430	754	△568	—	△1,091	—

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2026年4月1日時点の残高	75,387	△23	74,662	161,668	△788	160,880
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)	—	—	—	6,338	△44	6,293
その他の包括利益	3,361	△50	3,838	3,838	△13	3,825
四半期包括利益合計	3,361	△50	3,838	10,177	△57	10,119
新株の発行	—	—	—	603	—	603
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	△2,656	—	△2,656
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	—	—	△15	—	△15
株式報酬取引	—	—	—	△461	—	△461
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△917	—	—	—
その他の増減	—	—	—	0	—	0
所有者との取引額合計	—	—	△917	△2,531	—	△2,531
2026年6月30日時点の残高	78,749	△74	77,583	169,314	△846	168,468

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△1,990	8,133
減価償却費及び償却費	6,661	6,691
支払利息	1,466	1,767
営業債権の増減額 (△は増加)	8,007	4,500
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,037	△1,472
営業債務の増減額 (△は減少)	△3,294	△4,821
その他	3,043	1,981
小計	9,855	16,780
利息及び配当金の受取額	44	114
利息の支払額	△1,375	△1,441
法人所得税の支払額	△3,150	△1,122
法人所得税の還付額	10	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,383	14,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△2,241	△2,727
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	198	30
その他	△22	△616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,065	△3,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	336	7
長期借入金の返済による支出	△6,893	△5,958
リース負債の返済による支出	△1,517	△1,592
親会社の所有者への配当金の支払額	△2,462	△2,490
その他	△10	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,546	△10,018
現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,467	461
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,759	1,462
現金及び現金同等物の期首残高	39,592	39,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,833	41,282

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 報告セグメント

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業内容
糖尿病マネジメント	血糖測定（BGM）システムの開発製造販売
ヘルスケアソリューション	臨床検査事業の展開、レセプトコンピュータ・電子カルテ等医療IT製品の開発販売、創薬支援事業の展開
診断・ライフサイエンス	病理検査機器、研究・医療支援機器、診断薬・診断機器並びに電動式医薬品注入器等の開発製造販売

(注) 当社は、2027年3月期よりセグメントの内訳を変更しております。

従来、「その他」に含まれていたインドネシアにおけるB to B事業を「診断・ライフサイエンス」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

② セグメント収益及び業績

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	23,137	30,474	30,177	83,789	66	83,856
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	23,137	30,474	30,177	83,789	66	83,856
営業利益（△は損失）	3,953	860	871	5,685	△1,842	3,843
金融収益						45
金融費用						5,879
税引前四半期利益（△は損失）						△1,990
その他項目						
減価償却費及び償却費	1,090	2,632	2,786	6,508	152	6,661
減損損失	—	—	1	1	—	1

（注） 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	27,814	30,976	31,797	90,589	82	90,672
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	27,814	30,976	31,797	90,589	82	90,672
営業利益（△は損失）	9,180	1,097	1,813	12,091	△1,678	10,413
金融収益						122
金融費用						2,402
税引前四半期利益（△は損失）						8,133
その他項目						
減価償却費及び償却費	1,144	2,481	2,875	6,500	191	6,691
減損損失（△は戻入れ）	△28	—	—	△28	—	△28

（注） 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(売上収益)

収益の分解

主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連は以下のとおりであります。

当社は、2027年3月期よりセグメントの内訳を変更しております（（セグメント情報）参照）。なお、前第1四半期連結累計期間の主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジ メント	ヘルスケア ソリューション	診断・ライフサ イエンス	その他	合計
地域別					
日本	898	30,261	4,466	66	35,693
欧州	12,822	109	7,939	—	20,871
北米	5,318	7	12,618	—	17,943
その他	4,098	96	5,152	—	9,347
合計	23,137	30,474	30,177	66	83,856

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジ メント	ヘルスケア ソリューション	診断・ライフサ イエンス	その他	合計
地域別					
日本	935	30,650	4,261	82	35,930
欧州	16,355	28	8,269	—	24,653
北米	5,646	6	13,290	—	18,943
その他	4,877	289	5,977	—	11,144
合計	27,814	30,976	31,797	82	90,672